

(別添資料1)

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスFamily Wish

支援プログラム

作成日

2025年

1月

15日

法人（事業所）理念		障がいのある子どもの最善の利益を保証し、一人ひとりの個性を尊重しながら、療育や遊びを通して、成功体験を積み、自己肯定感を高め成長できるよう支援していきます。安心・安全・家庭的な環境の中で共生社会の実現に向けた支援を行います。また保護者や学校、関係機関とも情報を共有し連携を大切にすることで安心して子育てでき、子どもの成長と一緒に見守ります。						
支援方針		障がいのある子どもの意志及び人権を尊重し、日常生活における基本動作を習得し集団生活に適応することができるように身体及び精神状況並びにその置かれている環境に応じて適正かつ効果的な療育及び訓練を行い自立した日常生活を営むことができるよう支援するものとする。						
営業時間		平日 14時00分から 18時30分まで	祝日・学校休業日 9時00分から 17時00分まで		送迎実施の有無	あり なし		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	食事(お箸の持ち方・マナー)・整容・排泄・着脱などの基本的な生活スキルの獲得・準備、片付け整理整頓等身の回りの生活習慣の構築・早寝早起き等の生活リズムの形成、健康状態の維持改善に関するプログラムを実施						
	運動・感覚	姿勢の維持・移動・体づくりなどの粗大運動動作の基本的技能の向上、身体ほぐし多様な動きを作る運動・マット・鉄棒・走る・跳ぶなどの運動プログラムを実施 つかむ・ひっぱる・ひねる・つまむ・とす・はる・ぬる・はめる・描く・切る・折るなどの微細運動のスキルの獲得及び向上のためのプログラムを実施						
	認知・行動	視覚・聴覚・触覚・感覚を十分活用し必要な情報を収集して認知機能の発達を促す為に色・比較・位置・数字・形・時間・空間などの概念が習得しやすいよう日常生活場面での活動やビジョントレーニング・ワーキングメモリー・製作遊び・身体遊び・バランス遊び等のプログラムを実施						
	言語コミュニケーション	指さし・ジェスチャー・身振り・クレーン動作・絵カードでも意思の伝達出来る機会を積み重ねていけるよう環境及び関わり方の調整を行う。2語文・3語文・名詞・動詞・形容詞・助詞など子どもの発達段階に応じて、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける事で自発的な発語を促すマッチング等のプログラムを実施 コミュニケーションの基礎的能力の向上や言語の表出手段の選択活用など日頃の小集団・集団活動の中でSSTを取り入れ、言葉を用いた遊びや自分の考えを発表したり好きな事をプレゼンテーションする等のプログラムを実施						
	人間関係社会性	ルールのある簡単な遊びから徐々に複雑なルールのある遊びにスモールステップしながら他者との関わり、仲間づくりなど人間関係形成となる遊びを小集団～集団で行うプログラムを実施 感覚運動遊びや一人遊びから共同遊びへのスモールステップ支援						
家族支援		家族(兄弟を含む)からの情報の提供と定期的な支援調整、子育て上の悩み、困りごとなど聞き取り必要な助言・発達段階での課題についての気づきの促しその後の支援			移行支援	移行先との連携(特性に合った支援内容・方法等の伝達)学校地域での同年代の子どもとの仲間づくり。具体的移行先との支援体制の構築		
地域支援・地域連携		教育機関関係者との連携・医療機関、児童相談所等の専門機関との連携・個別ケース検討会議への出席			職員の質の向上	事業所内研修・外部研修の派遣・療育、制度、5領域等にかかる勉強会		
主な行事等		避難訓練・誕生会・季節の工作・製作・季節の行事(初詣・お正月遊び・節分・ひな祭り・こどもの日・七夕会・夏祭り・スイカ割り・流しソーメン・お月見会・七五三大会・ハロウィン・クリスマス会)・茶道・体育館遊び・水遊び・プール遊び・公園遊び・調理実習・買い物体験・おやつ作り・工場見学・図書館利用・音楽会・ボランティアさん訪問等						